

伊藤先生の  
街かど診療室  
Q & A

加齢黄斑変性や  
黄斑浮腫に対する  
治療について



**伊藤 勇**  
保谷伊藤眼科院長  
大学病院で最先端の眼科医療に携わ  
ってきた眼科専門医。地域の医院と  
の連携を積極的に図っている。

人間の目の中に光が  
届く一番奥が黄斑部と  
いわれ、その中心は視力  
1・0を稼ぎ出す中心窩  
と呼ばれ、大きさはボー  
とされ、治療として硝子体

ルペンの芯1個分ほど  
の領域です。  
黄斑部に血管のダ  
メージが生じ、中心窩を  
巻き込んで出血や浮腫  
が生じると、途端に視力  
は低下し、放置すること  
で不可逆性の組織の癒  
痕(はんこん)化を来とし、  
以前は効果の低い内  
服治療や侵襲の強い  
レーザー治療、手術療  
法も少なくありません。  
19で継続治療が中断し  
様にルテインの摂取を  
お勧めします。

内抗VEGF抗体注入  
を継続している方が増  
加しています。また、網  
膜中心静脈(分枝閉塞症  
どうしてそのような差  
があるかはまだ完全に  
は判っておりません。  
昨今のCOVID-19  
で継続治療が中断し  
様にルテインの摂取を  
お勧めします。

加齢黄斑変性と診断  
された、治療として硝子体  
F抗体(新生血管促進因子  
阻害剤)を眼球内に投与  
することによって、一時  
多くなっています。  
その際は、眼科でどの程  
度の進行具合なのか定  
期的に調べてもらうこと  
も重要です。予防と  
してサプリメント(ルテ

☎042-439-8123  
西東京市北町 1-6-1  
レッツビルディング 3F  
<http://www.itoganka.com/>  
■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術  
白内障手術、眼科一般診療  
■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診  
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	/	○	○	/
14:00~17:00	手術	手術	手術	/	手術	/	/